



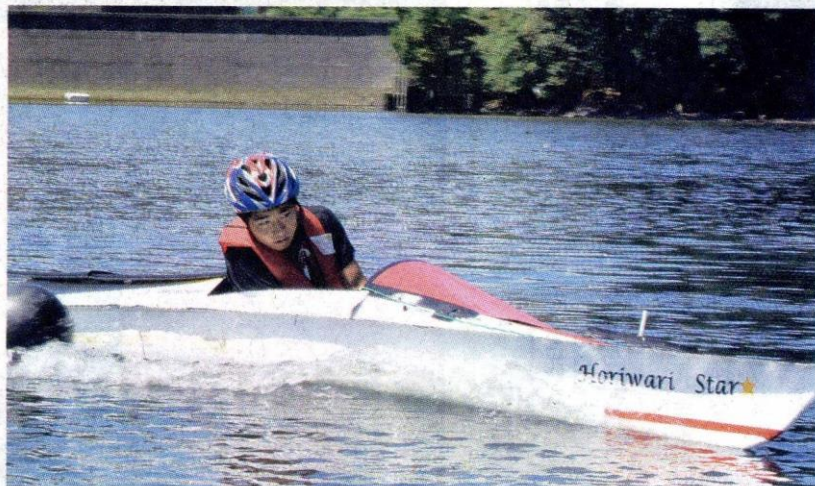
造船科・造船部

須崎工ソーラー艇 連覇狙う

【須崎】太陽光発電で走るソーラーボートの競技大会「柳川ソーラーボート大会」で、おととしから連続優勝している須崎市の須崎工業高校造船部が、今年も8月1、2の両日に福岡県柳川市で開かれる同大会に出場する。生徒たちは「今年も優勝したい」と意欲を高めている。(山本 仁)

造船部「成果出し切る」 来月1、2日 福岡で大会

ソーラーボートの操作を練習する
造船部員(須崎市の浦ノ内湾)



大会は柳川城のお堀がコースで、主に九州や中国の企業、学生チームが出場する。競技は、約3・1キロのコースを3周する周回レースと、直線150メートルに浮かべたフイを縫って進むスラロームの2種目。一般の部、学生の部に分かれてタイムを競う。

須崎工高造船部は、2011年に周回で初優勝し、13年はスラロームで1、2位に輝いた。昨年は周回、スラロームともに1、2位を独占。スラロームでは大会新記録を達成し、この年の一般のタイムも上回った。

今年の造船部メンバーは、造船科の2、3年生7人。昨年の優勝艇と今月上旬に完成した新艇のコースで、主に九州や中国の企業、学生チームが出場する。競技は、約3・1キロのコースを3周する周回レースと、直線150メートルに浮かべたフイを縫って進むスラロームの2種目。一般の部、学生の部に分かれてタイムを競う。

生徒たちは今月中旬から、須崎市の浦ノ内湾で、トラブルへの対応やバッテリー交換などのピット作業やボートの操作を練習してきた。昨年に続いてドライバーを担当する2年生、岡本正(まこと)君(17)は「練習し続けることに頑張りたい」。部長の3年生、嶋崎史晃君(17)は「今年も2種目制覇したい」と意気込んでいる。



3連覇目指して、突き進め!